

**日本骨髄バンクの現状（2000年12月末）詳細は別添一覧を参照下さい。**

	前月	当月	現在数	累計数
ドナー登録者数	1,441	1,244	133,970	159,645
患者登録者数	113	146	1,697	10,276
骨髄移植例数	73	40	-	3,083

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

**① 2000年の年間移植件数は699例**

日本骨髄バンクを介した非血縁者間移植は、昨年1年間で、699例（対前年比25,9%増）が実施され、累計で3,083件に達しました。1993年1月に第1例目の移植が実施されてから、98年453件（前年比13,8%増）、99年555件（同22,5%増）と移植例数は順調に増加してきました。昨年は1か月の移植例数が70件を超えた月が3カ月もありました。ここに至るまでの、3,083人のドナーの方々には心からお礼を申し上げますとともに、移植病院関係者、調整医師、コーディネーター、各都道府県、日赤血液センター、支援団体など関係者の皆さまのご協力に心から感謝申し上げます。今後とも、一人でも多くの患者さんの生きるチャンスのため、コーディネート期間の短縮化、ドナー登録推進活動などに積極的に取り組んでまいります。現状の伸び率が維持されれば、本年は約850例になります。皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

**② 財政難です。募金協力をお願いします**

皆さまのご理解とご支援により、日本骨髄バンクの業務量は増加の一途を辿っています。しかし、業務量の増加に比例して収入が増える構造ではないため、財政面では、98,99年度と赤字が続いています。本年度はコーディネートと移植件数が急増しているため活動経費が大幅に増加しており、また、コーディネート迅速化などのために本格稼動したコンピュータシステムの保守管理費が新たに必要になります。さらに、最近のドナー登録者増加数の低迷傾向を打破するキャンペーン活動も必要で、約5000万円にのぼる費用捻出に苦慮いたしております。そこで、業務を支障なく遂行していくために、特別募金運動を開始させていただきます。まず、財団の現状をご理解されている理事、監事、評議委員、各委員会委員、調整医師、コーディネーター、地区普及広報委員、財団事務局職員の皆さまに、特段のご協力をお願い申し上げる次第です。今後、各企業、団体、一般の方々などをお願いしてまいります。患者さんの救命のために、今後とも事業の遂行に全力を傾注する所存です。どうか事情をご賢察のうえ、ご理解、ご協力賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

### ③ 2月11日(日)、第4回骨髄バンク公開フォーラムを開催します

NPO全国骨髄バンク推進連絡協議会と当財団主催の「骨髄バンク第4回公開フォーラム」が2月11日(日)9:30~17:00、全労済東京レインボー会館(東京都新宿区西新宿7-20-8)で開催されます。入場無料。日本骨髄バンクの設立から10年という節目の年に、新世紀のバンクのあり方を考える有意義なフォーラムにしたいと思います。構成は、第1部「ドナー登録者、3年で30万人を実現するために」、第2部「ドナーの安全強化、安全な採取体制を実現するために」、第3部「患者さんの救命のチャンスを広げるために」。ランチョンセミナーでは「同種末梢血幹細胞移植」を取り上げます。厚生省、日本赤十字社、地方自治体、ドナー、患者・家族、各地ボランティア、マスコミ等、多くの方々のご参加をお願いします。

### ④ 2月10日(土)、厚生労働省研究班「公開シンポジウム」を開催

今年度の厚生科学研究 ヒトゲノム・再生医療等研究事業「造血細胞の自己修復能力、再生能力を利用した治療法の開発と普及に関する研究」班と「臍帯血を用いた移植・再生医療に関する研究」班の合同公開シンポジウムが、2月10日(土)14:00~17:00、東京医科大学第一研究教育棟第二講堂(東京都新宿区西新宿6-7-1)において開催されます。発表演題は、「胚性幹細胞から血液細胞へ - 再生工学的展望 - 」、「造血幹細胞の体外増幅」、「わが国における臍帯血移植の臨床成績」、「同種末梢血幹細胞移植の普及と応用」、「自家造血幹細胞移植の現状」、「HLA-DNAタイピングの普及に向けて」、「HLA-C、E抗原の解析」、「膠原病に対する造血幹細胞移植実施に向けて」です。最新の研究成果を知る絶好の機会です。入場無料で、どなたでも参加できますので、ぜひご来場ください。

### ⑤ シンポジウム「骨髄バンクに登録を—沖縄の取組み」が開催されます

沖縄では、一昨年11月から、県赤十字血液センター、支援団体、地区普及広報委員の協力で、「献血会場におけるドナー登録受付」を実施し、昨年1年間の登録者純増771人という実績をあげています。大阪府ではこのたび、沖縄方式を参考に、ドナー登録の一層の充実をはかるため、府主催のシンポジウムを開催することになりました。1月16日(火)14:00~16:00、大阪府中央区のドーンセンター5階の特別会議室にて、参加費は無料です。

## ⑥ バンクニュース17号「住所変更届ハガキ」が活用されています

昨年11月30日発行のバンクニュース17号に同封の「住所変更ファックス用紙・ハガキ」による住所等の変更連絡が、すでに4000件に達しました。昨年6月のバンクニュース16号発行後には最終的に9000件の変更届が寄せられました。従来、住所不明で取り消されていた方々の25～50%が捕捉されるという試算です。取消数の増加は、ドナー登録者拡大低迷の大きな一因となっています。今後ともドナーリテンション（保持）対策を講じてまいります。住所、氏名の変更の際は、「住所変更届ファックス用紙・ハガキ」をお送りいただくか、登録データセンターへのご連絡をお願いします。

## ⑦ 地区普及広報委員を募集しています

当財団の普及啓発や骨髄ドナー登録キャンペーン開催にご協力をいただく「地区普及広報委員」を募集しています。任期は1年。提出書類は 応募用紙、履歴書（写真付）、推薦書—志望動機とボランティア経験をレポート用紙1枚半（400字～1,200字）に記入、財団関係者または所属団体の代表者の推薦のコメントを添付してください。応募申請用紙の請求やお問い合わせは財団事務局まで。

**国際協力事業の状況（1997年4月～2000年12月末）、HLA照合サービス状況期間**

日本 米国	予備検索484件（適合333件） 登録279件 移植74件（10月1件、11月1件）
米国 日本	予備照会1060件（適合54件） 登録76件 骨髄提供1件
日本 台湾	予備検索320件（適合57件） 登録114件 移植11件（11月2件）
台湾 日本	予備照会1件（適合0件） 正式登録1件 骨髄提供の実績なし
日本 韓国	正式登録79件（適合13件） 移植2件（8月1件）
韓国 日本	正式登録163件（適合63件） 骨髄提供31件（10月3件、11月2件、12月1件）
その他の国 日本	正式登録146件 提供累計7件（香港4件、英国2件、オランダ1件）

\* 4半期ごとに掲載です。

**お知らせ**
**政府広報テレビ放映のお知らせ**

- (1)1月16日（火）10:00～10:30、テレビ朝日系列「情報バザール」
- (2)1月22日（月）11:25～11:30、日本テレビ系列「ご存知ですか」

で骨髄バンクが取り上げられます。骨髄移植の理解とドナー登録を呼びかける内容です。

ぜひ、ご覧下さい。